

国連が定めた世界自閉症啓発デーである4月2日、横浜市自閉症協会（以下、協会）が主催し、自閉症への理解を促すイベントを行いました。共催は、社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団。

当事者・一般を含め約100名が、「癒やし」や「希望」などを表す青色をシンボルカラーに、風船やリストバンド、マフラータオルを身につけたり、フェイスペインティングをしたりして、横浜臨港地区にある象の鼻パークから横浜マリンタワーまでの約1 kmを歩き、自閉症啓発を呼びかけました。

日没直後には、参加者全員が横浜マリンタワー前に集合。参加者全員によるカウントダウンで、横浜マリンタワーがブルーにライトアップされました。晴れ渡った夜空に、みんなの思いを乗せた幻想的なブルーの光が浮かび上がりました。

この横浜マリンタワーのブルーライトアップにあわせ、隣に位置する「メルパーク横浜」、新横浜にある「日産スタジアム」の2箇所でもブルーライトアップを行いました。

横浜市自閉症協会では、この世界自閉症啓発デーにあわせ、引き続き啓発活動を行ってまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

イベントタイトル：Dress-up Blue & Walking 2018 in YOKOHAMA

日時：平成30年4月2日（月）17:00-19:00

主催：横浜市自閉症協会

共催：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

後援：横浜市、横浜市教育委員会

協力：メルパーク横浜、日産スタジアム

